

## 東日本大震災復興大槌町 2013 年度日中共同調査設計ワークショップ (2013 年 4 月 28 日)

当財団の 2012 年度助成案件「岩手県大槌町の復興まちづくり活動を対象とした信託の活用に関する研究」の活動の一環として本ワークショップが開催されました。

このワークショップでは、日中の大学生が、町の地形や特質等を考慮した上で、それぞれテーマ性を持ったアイデアを盛り込んだ新しい町づくり案を、模型や図面を駆使して発表しました。

学生の皆さんが、一生懸命事前調査をし、真剣に議論をして、少しでも良い町にしようと考えてくれたということがよくわかりました。

町の皆様をはじめ参加されていた方々からも活発なご意見・ご質問があり、双方向での意見交換、交流の場となりました。復興に向けたアイデアの共有の場として有意義な企画になっていたと思います。

ワークショップの会場は大槌町の高台に建つ中央公民館でした。この公民館は高台にあったため、東日本大震災の際も災害を免れ、当時、1,000 人程度の 町民の方々が避難されていたと伺いました。

大槌の町は、この高台の麓にある町役場を中心に町が開けていたということですが、震災後 2 年以上経過した現在でも、役場の周辺は更地が目立ち、周辺には仮設住宅が点在していたり、また、長屋式の仮設商店が設置されておりました。つまり、復興に関しては、まさにまだ「これから」ということをあらためて思う 1 日となりました。

ぜひ、これからも、町の方々をはじめとしたご関係の皆様での協力で、伝統ある大槌町の復興を心より祈念申し上げます。



写真①

公民館の建つ高台から望む大槌町



写真②

元大槌町役場